



中央区役所

中央区 自治協議会だより

第19号

(特集号)

平成30年3月25日発行

29 年度の部会活動を振り返って

祝 新潟開港150周年

2019年1月1日に新潟港は開港150周年を迎えます。
区民の皆さんに周知を図るため、「湊町新潟」をテーマにした企画を下記の2つの部会で実施しました。

水辺とみなと部会

「何が湊町新潟の繁栄を支えたのか」 講演会

2月9日に、信濃川と阿賀野川水系の歴史・文化と北前船、新潟開港150周年の歴史と現在をテーマとした講演会を実施し、当日は、360名の方からご参加いただきました。

講師はみなとぴあの 伊東祐之副館長

新潟湊の成り立ちから役割、開港に至るまで、また、湊町を支えたモノ・人について、歴史を順に追って、わかりやすくご講演をいただきました。



参加者の声

- ・生まれ育った湊町新潟の歴史を知ることができました。
- ・湊町で大勢の人々が働いて大きくなったことを知り、新潟港で栄えた成り立ちに興味を沸きました。
- ・湊町新潟には全国に誇れる資源があることを知りました。
- ・講演の内容には、湊町新潟の繁栄を復活させるためのヒントがたくさんあったように感じました。

パネル展示



歴史写真館「古町の記憶」



明和義人伝



地域活性化部会

「新潟湊町物語 序章」 ～湊町新潟の原点と今を未来につなぐ～

2月9日・10日に、「湊町」をテーマにした出展があり、古町スイーツは両日完売、2日目は伝統工芸体験も満席となるなど、大勢の方からご来場いただきました。

古町芸妓による 日本酒試飲振る舞い



新潟小4年生考案の 「古町スイーツ」などの販売



伝統工芸体験(新潟漆器箸研ぎ・蒔絵・ほこらの組み立て)



参加者の声

- ・芸妓文化を残すため、継続した取り組みをしてほしい。
- ・新潟にある、素晴らしい工芸の体験イベントを楽しみに来ました。
- ・職人さんから直接話が聞けてよかったです。
- ・古町(新潟)の文化や歴史を知る良い機会となりました。



福祉・安心安全部会

「地域の茶の間」活動事例集が完成

～活動の広がりを目指して～

地域包括ケアシステムの構築に向けた住民活動の推進をテーマに、8カ所の「地域の茶の間」取材し、事例集を作成しました。茶の間の立ち上げの経緯や活動の様子を掲載しています。地域活動の参考にぜひご活用ください！

中央区「地域の茶の間」活動事例集



いきいき天神



笑う門には福来る！
笑って元気に、気持ちも明るく！

長嶺サロン“チューリップ”



いちど寄ればまた来なくなる「茶の間」

しもまち笑顔の家



居心地のよさが、陽だまりのような

八丁目の茶の間



わたしたちが茶の間の主役

住み慣れた街で
安心して暮らすために！

地域の茶の間 開催場所マップ(事例集より)



●は中央区内の地域の茶の間です。
番号は、事例集掲載の一覧表番号です。

しもまちお互いさまランチ



地域の団結が魅力！

大島えんがわの会



夢広げる地域の輪

ポプリの会



地域の人たちとのつながりを大切に

サロン団九郎



茶の間の歴史をいかして自由に集う

活動事例集は区内の自治会、町内会、地域コミュニティ協議会のほか、公民館等に3月末に配布・設置予定です。

自治協議会とは？

区自治協議会

代表者

地域コミュニティ協議会
市民団体、NPO 法人
公共的団体 など

代表者

区民の皆さん

協働

区役所

協働って「同じ目的に向かって、それぞれの力を出し合い一緒に活動する」という意味なんだね！



中央区自治協Q&A

- Q どんなメンバーで構成されているの？
A 区内のコミュニティ協議会代表者のほか、社会福祉協議会や商店街連盟の代表者、大学の准教授や地域教育コーディネーターなど、計38名で構成されています。
- Q どんな活動をしているの？
A 月1回の全体会議では、区の施策や地域に関わる様々な議事について審議を行っています。また、各委員は、専門分野ごとの部会に所属し、地域課題の解決や地域活性化を図るための部会活動に取り組んでいます。



全体会議の様子

地域と学校部会

子どもたちの未来につながる取組み 協働で実施しました

募集チラシ



子どもたちの学びや成長につながる取組みの提案を募集。申請書の書き方のサポートや事業実施までの諸準備など、自治協委員が様々なサポートを行い、これまで8つの取組みを協働で行いました。

親子でゴスペル!



「光のページェント」の点灯式を盛り上げようと、地域の大人と子どもたちで結成。点灯式当日、ゴスペルの歌声が会場に響き渡りました。

小さな光の美術館



障がい者アートの魅力を広く知ってもらおうと、「光のページェント」点灯式会場や地域の交流スペースで、作品を展示。笹口小の6年生が企画提案、絵の紹介等の運営を行いました。

小中学生の為の将棋教室



山潟地区で将棋教室を開催。将棋好きの小中学生が、地域の達人より、対局する際の礼儀からゲームまでを教わりました。皆、熱心に学んでいました。

子どもと創る四つ葉地域交流事業



上所小の教室で、地域住民と児童のふれあいの場を月1回程度開催。公民館のサークル活動を発表したり、一緒に歌や手話ダンスやお茶を楽しんでいます。

桜が丘プレミアムフライデー



小学校の教室で地域住民と児童の交流の場を月1回程度開催。オセロや囲碁・将棋などの昔遊びを一緒に楽しんでいます。

プログラミングチャレンジ!



白山小のふれあいスクールでプログラミング教室を開催。先生や大学生のサポートを受けて、児童がプログラミングスキルを楽しく習得しています。

子育てサロン&茶の間



駅南地区の小学校併設の交流スペースで「親子の居場所(ほっとカフェ)」を週1回程度開催。毎回多くの親子が訪れ、小学生や祖父世代との幅広い交流を行っています。

障がい者と小中学生の交流



アート活動を通じて、障がい者と小中学生との交流を図ろうと、NEXT21のアトリウムでワークショップを開催。今後は、各学校での取組みを進めていく予定です。

29年度の自治協議会 主な議事・取組み

4月 ・第6期委員に委嘱状交付。新任委員19名を含む38名でスタート。

5月 ・中央区長より「区長マニフェスト」の報告。

6月 ・区ビジョンまちづくり計画「第2次実施計画」について報告。

7月 ・中央区役所移転について報告。
・第1回中央区教育ミーティング
29年度の教育委員会の施策の説明と意見交換。
・区全体の委員研修会
黒崎市民会館で講演会と意見交換会を開催。

8月 ・移転後初めて開催。区自治協議会のあり方について意見募集。

9月 ・30年度特色ある区づくり事業についての意見聴取の説明。
・「自治会・町内会役員のみならず手不足について」と題し意見交換。

10月 ・区ビジョンまちづくり計画「第1次実施計画」取組結果について報告。

11月 ・区自治協議会の今後のあり方についての意見聴取の説明。

12月 ・30年度区自治協議会提案事業の概要を部会ごとに報告。
・区独自の委員研修会 =写真=
自治協委員経験者お二人を講師に迎え、当時の心境や取り組まれた活動事例などについて、講演会を開催。



1月 ・中央区自治協議会のさらなる活性化について検討。
・第2回中央区教育ミーティング
29年度全国学力・学習状況調査の結果報告と意見交換。

2月 ・「ごみ出しマナーやステーションの管理について」と題し意見交換。

3月 ・市長より「2018年 新潟市の取り組み」についての報告。

中央区長インタビュー



2月の某日、区長室で編集部会員が石塚里栄子区長へインタビュー。これまでの振り返りや自治協議会に対する思いについて、語っていただきました。



Q これまでの業務で最もご苦労されたことと、心に残っていることは何でしょうか？

A 10年前、政令市移行に伴い設置することになった、「コミュニティ協議会(以下コミ協)」の立ち上げに関わりました。当時、立派に地域活動をされている方々に、コミ協の良さを伝え続け、立ち上げてもらうのには苦労しましたし、その分、心に残っています。

Q そういったご苦労があって、3年前中央区長に就任されたのですね。

A はい、区長として中央区に戻ってくると、各コミ協がしっかりとした組織になって活動されていたのには、とても感慨深いものがありました。生みの苦しみを味わった分、我が子が育つ様子を見るのと似たような気持ちです。3年間、区長としてそれを感じることができたのがとても嬉しかったです。

Q 中央区区ビジョン基本方針に掲げている将来像と「目指す区のすがた」について、お聞かせください。

A 中央区は人口が8区の中で最も多く、新潟市の中核を担っています。歴史、文化、都市機能、交通の拠点性、経済・商業の中心という様々な要素のほかに、市全体の発展のけん引役としての位置づけもある点が、他区とは違う特徴ではないかと思っています。

区の特色や地域の文化を生かした様々な施策や事業を展開し、地域の皆さんとたくさんの協働ができていることをありがたく思っています。

Q 「中央区自治協議会」に対して期待することを教えてください。

A 自治協議会(以下自治協)の中心はコミ協選出の委員の皆さんだと思います。コミ協は、地域の色々な意見を持ち寄る場であり、その代表として委員を務めていらっしゃる方には、大きな使命を担っていただいていると思っています。

一方、コミ協選出以外の地域に関わる様々な分野の方もいらっしゃるので、お互いが手助けし合える場になってほしいです。

また、中央区で行っている「特色ある区づくり事業」に、委員の皆さんから参画してもらったり意見を言ってもらったりするなど、区の実現にも、積極的に関わっていただきたいです。



インタビューを終えた感想

エネルギーで気さくなお人柄の石塚区長のインタビューは、終始和やかな雰囲気で行われました。10年前のコミ協立ち上げのご苦労話や自治協への思いなど、楽しく伺うことができました。



30年度の部会の取組み



地域活性化部会

新潟湊町物語 「新潟の原点」活性化

新潟市の中心市街地である「古町地区」が繁栄した背景には、「湊町」の歴史があることを踏まえ、「古町地区」を従来の商店街機能だけでなく、湊町がもたらした「多機能・多様型」の特徴を生かしながら、多世代で未来を築いていけるよう、取組みを実施していきます。

30年度は、古町地区の商店街や寺院等と協力し、「西堀寺町～NEXT21～古町通」の回遊性を高めていく取組みを実施します。

福祉・安心安全部会

誰もが住みやすく地域で楽しく暮らせるまちづくり

地域包括ケアシステム構築に向けた住民活動の推進をテーマに、地域に目を向け、地域住民ができることを検討するため、取組みを実施し「助け合う地域づくり」の推進を図ります。

30年度は、各地域で行われている「見守り活動等」の事例を集め、事例集を作成し発信することで、活動を知ってもらい地域での新たな取組みに繋げてもらいます。

水辺とみなと部会

新潟開港150周年記念の啓発

開港150周年の歴史的節目を区民の皆さんに周知し、多くの方々に関心をもってもらうきっかけづくりとなり、さらに湊町新潟が未来に羽ばたき発展できるよう側面から支援する事業展開を行います。

30年度は、開港150周年に関連する記念のカレンダーを作成し、中央区内の学校などに広く配布することで、周知に取り組みます。

地域と学校部会

「子どもが真ん中！地域と学校でつくる学びの未来」提案型による協働の取組み

新潟市教育ビジョンの柱である「学・社・民融合による人づくり、地域づくり、学校づくり」に沿い、学校現場などで地域課題と向き合っている方々が提案する子どもたちの未来につながる様々な取組みを、部会員がサポートし、継続実施に向けて一緒に取り組んでいきます。

30年度は、より細やかなサポートができるよう改善を図りながら、引き続き申請者から提案された取組みを協働で進めていきます。

編集後記

新潟開港150周年 新たな航海が始まる



2019年1月の新潟開港150周年に向けて、様々な企画が動いています。自治協議会はこれを機に、中央区を更に発展させようという、気概に満ちあふれた一年でした。これから、新たな航海が始まります。

座長 細川三千夫

自治協議会の議事の内容はホームページ
(http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/jichikyo/kaigi_kaisai)
=二次元コード=で公開しています。



発行：中央区自治協議会 編集：中央区自治協議会だより編集部
事務局：中央区役所地域課 〒951-8553 新潟市中央区西堀通6番町866番地
電話：025-223-7023 FAX：025-223-3660
Email：chiiki.c@city.niigata.lg.jp